



代表 はまうら佳子

〒582-0026  
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号  
電話 072-977-5502  
FAX 072-977-9782  
Info@kashiwara-mihariban.com

## なぜ、私有地の修復に600万円!? 中野市長、専決処分を乱用!

自治体の首長に許された権限のついでに「専決処分」がある。議会の承認なしに、予算を決定できるというものだが、この夏、中野市長は、私有地の擁壁の土砂崩れを「市道復旧・補修工事」として発令したので。

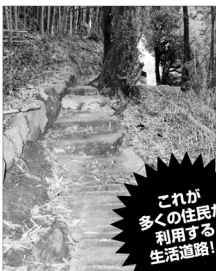
市道の補修工事の擁壁とど見ても私有地擁壁



### なぜ、市道復旧工事?

大雨となった8月9日(土)、畑地区で、民間が所有する私有地の擁壁が崩壊した。その日のうちに、中野市長は専決処分を決め、600万円という予算で、随意契約(入札なく業者を指定して決

める)で補修工事が始まった。市長は「住民が生活の道路として使っているのだから、緊急性があり公益性があるために専決処分を下した」と説明したが、写真で見ると、不特定多数の方

写真右:工事現場横の私道(2010年当時)  
写真左:私道を上げていった先

これが  
多くの住民が  
利用する  
生活道路!?

被害現場を撮影した中野市長  
(分道橋)0014年夏撮影

固定資産税が减免になるはずである。市の回答は「していい」ということであった。

「地域住民」が日常的に利用しているのであれば、税金投入も一理あるが、その場合、何故議員の賛成多数で可決されたのか? 本会議で可決されるという噂も聞いた。反対するが耳に入らないうちが大阪府と行政側との交渉であった。10月2日の本会議の議決は、数十件以上の多大なる噂どおり「濱浦」だけが否決したのである。「大阪府から災害補助金」が利用している生活道路であるように思える。子どもたち、自転車、高齢者の車椅子等の利用は難しいと思う。法務局で確認すると、道は全く境界線であった。実際に工事をしたのは随意契約の業者でなく、業者の兄弟関係の会社が手がけていたこともわかった。



「自ら命は自らで守るために即、専決処分」。「自らの地域は自らで守るために即、専決処分」。「自ら命は自らで守るために即、専決処分」。

「自ら命は自らで守るために即、専決処分」。「自ら命は自らで守るために即、専決処分」。

### 柏原市災害対応指針案として

「自ら命は自らで守るために即、専決処分」。「自ら命は自らで守るために即、専決処分」。

### 明らかに多すぎる補助

国の被災者支援に関与する災害甲斐金制度では、住宅被害は全壊等100万円、大規模半壊50万円となっている。大雨、台風、地震が起こる度に、緊急の場合の専決処分をするのでは、柏原市は破綻してしまう。

### 玉手山公園で何があったのか?

9月29日午後4時過ぎ、1人のシルバーさんかドリックを飲んだ後、意識不明になり中河内の救急センターに搬送された。翌夕方近くに意識を取り戻した。その場所に行ったのがI氏、N氏である。ドリックに何が混入されていたようだ。ドリックを飲む前に最後に電話をしたのが濱浦だった。1人の人間をそこまで苦しめた原因は何であったのか、今後どう向き合います。不意に発した言葉がその人の心を傷つけたのでは。



固定資産税が减免になるはずである。市の回答は「していい」ということであった。

「地域住民」が日常的に利用しているのであれば、税金投入も一理あるが、その場合、何故議員の賛成多数で可決されたのか? 本会議で可決されるという噂も聞いた。反対するが耳に入らないうちが大阪府と行政側との交渉であった。10月2日の本会議の議決は、数十件以上の多大なる噂どおり「濱浦」だけが否決したのである。「大阪府から災害補助金」が利用している生活道路であるように思える。子どもたち、自転車、高齢者の車椅子等の利用は難しいと思う。法務局で確認すると、道は全く境界線であった。実際に工事をしたのは随意契約の業者でなく、業者の兄弟関係の会社が手がけていたこともわかった。

### 市民からの預かり金を軽々しく使うな

税金は市民からの預かり金である。請求で公金支出の妥当性を明らかにし、短絡的に使うのはいかか。このような事例を行政側が認めれば、そのたびに市が負担することになり、膨大な公費負担が発生する。今後の柏原市の財政を考えると認めるべきではない。市民の貴重な税金を「預かり金」として公平に使われるべきである。